



# 違いがわかる 特長説明!

## 1 安全から安心へ

主要部材が強度保証のある安心な鋼板で造られている堅牢な物置は、収納物を強風や積雪から守ります。**耐**マークの付いた機種は強風や地震に対する強度が建築基準法に対応<sup>①</sup>しています、より安心してお使いいただけます。



**耐**マークの無い機種は、専用オプション「耐風・耐震補強セット」が必要です。

- ① 基準風速 34m/s 地域を前提としていますが、設置条件、用途地域によっては対応できない場合があります。
- ② 棚板の配置やオプションの取付けが制限される場合があります。詳しくはご相談ください。
- ③ 所定の強度を得るためには、別途コンクリート布基礎とアンカーボルトでの緊結が必要となります。後付けはできませんので発注時にご確認ください。

建築基準法の規定により建築確認申請が必要となる場合は、用途地域により制限を受ける場合があります。ご購入前に各市町村の建築課にご相談ください。

[特許出願中]

## 2 滑りの良さが持続

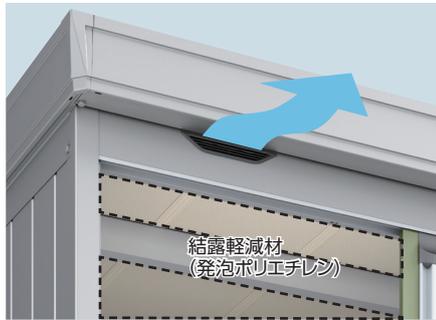
滑りが持続するベアリング戸車と下部レールには高耐食鋼板を使用し、扉の動きに配慮しています。



## 3 庫内快適

換気ガラリで庫内温度の上昇を抑え、オプションの結露軽減材で庫内を快適に保ちます。

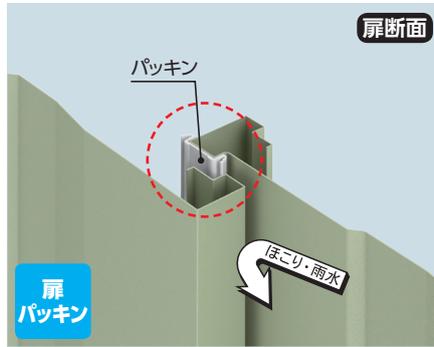
③ 結露軽減材は結露の発生を止めるものではありません。



結露軽減材  
(発泡ポリエチレン)

## 4 ほこり・雨水の浸入に配慮

扉の合わせ目にはパッキンを採用し、ほこり・雨水の浸入に配慮しています。



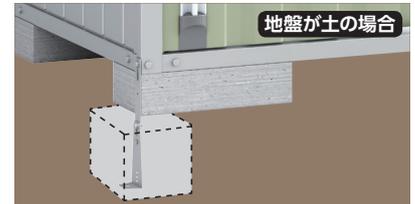
扉断面

扉  
パッキン

## 転倒防止対策も万全!

アンカープレート

! 台風や地震時などの転倒防止対策に必ずいずれかの転倒防止工事を行ってください。



地盤が土の場合

付属品のアジャスタブルアンカープレートを使用して、転倒防止工事を行ってください。アンカーは柱下部4ヶ所で行います。



地盤がコンクリートの場合

市販品のオールアンカー (M10) を使用して転倒防止工事を行ってください。



コンクリート布基礎の場合

柱下部に立ち上げたアンカーボルトとの緊結となります。(建築基準法に対応した基礎です)

## 5 半開き防止

扉の跳ね返りを防止するラッチ機構付きで半開きを防ぎます。③ 壁面扉タイプにはありません。



跳ね返り  
防止

## 6 使いやすい把手&錠前

どこを触っても開けやすい錠前一体型の把手を採用。錠前には仮ロック機能が付いています。

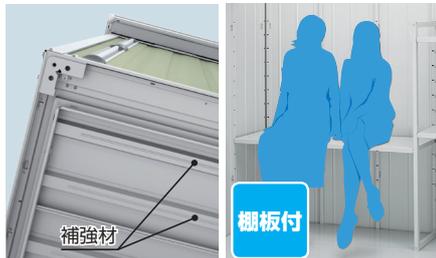


仮ロック  
機能

## 7 頑丈な床 & 棚板

補強の入った頑丈な床はガタツキに配慮した構造で耐荷重は6000N/m<sup>2</sup>。棚の耐荷重は2000~2500N/m<sup>2</sup>で、どちらも業界最高水準の強度です。

③ 集中荷重、衝撃に耐えるものではありません。



補強材

棚板付

床裏構造

棚強度イメージ

## 8 扉の開きを選択可能

現地で戸車とスライダなどの部品を入れ替えるだけで、逆開きにすることができます。

※錠前は天地逆仕様となります。

標準仕様

左から右に開ける



逆開き仕様

右から左に開ける



## 基本仕様

- 積雪強度 一般型: 1200N/m<sup>2</sup> (120kgf/m<sup>2</sup>)
- 多雪型: 3100N/m<sup>2</sup> (315kgf/m<sup>2</sup>)
- 豪雪型: 4500N/m<sup>2</sup> (450kgf/m<sup>2</sup>)
- 耐風圧強度 Vo=34m/s
- 床耐荷重 6000N/m<sup>2</sup> (600kgf/m<sup>2</sup>)
- 棚耐荷重 2000~2500N/m<sup>2</sup> (200~250kgf/m<sup>2</sup>)
- 屋根の出幅 前部: 100mm  
後部: 80mm  
側部: 55mm

FS

中型物置  
フォルタ